

令和7年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

概 要	名称	一般財団法人宮崎県公衆衛生センター		所在地	宮崎市霧島1丁目1番地2		
	電話番号	0985-24-7400		ホームページ	https://www.miyazaki-wflabo.org/		
	設立年月日	昭和43年6月6日	代表者	理事長	小田光男	県所管部・課	衛生管理課
	総出資額	6,000千円		県出資額	0千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	飲食物及び飲用水等の衛生に関わる検査並びに動物管理業務に関わる業務を行い、もって公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。					
	特記事項	①水道法に基づく水質検査業務、貯水槽水道検査業務に係わる厚生労働大臣登録検査機関 ②食品衛生法に基づく厚生労働大臣登録検査機関					

内容		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
改革 工程	①公社等のあり方見直し	県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるような取組	前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組んだ。 (実績) 前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組んだ。	(計画) 前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組む。 (実績) 前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組む。	
	経営・事業運営改善	中期経営目標および経営改革プランに沿った事業運営	前年度に引き続き、中期経営目標および経営改革プランに沿った事業運営に努めた。	(計画) 前年度に引き続き、中期経営目標および経営改革プランに沿った事業運営に努める。 (実績) 前年度に引き続き、中期経営目標および経営改革プランに沿った事業運営に努めた。	
	②公社等の経営見直し	財務改善	適正価格での入札取組、経費節減取組	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に取り組んだ。	(計画) 前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に取り組む。 (実績) 前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に取り組んだ。
	組織等適正化	検査員の配置替え 動物管理業務は、正規職員退職後、非常勤職員への転換	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進めた。	(計画) 前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進める。 (実績) 前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進めた。	(計画) 前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進める。
③県と公社等の関係	人的支援見直し	県退職者の配置検討	関係業界との連携・指導のため、公衆衛生行政の経験のある県退職者が従事できている。また、県退職者2名が補助・委託事業を担当し適正に推進できている。	(計画) 職員数は、現在の事業規模を考慮すると適正であり、業務の公益性が高いことから、昨年度と同様、県の一定の関与が必要である。 (実績) 関係業界との連携・指導のため、公衆衛生行政の経験のある県退職者が従事できている。また、県退職者2名が補助・委託事業を担当し適正に推進できている。	

不見直し	財政支出見直し	事業の効率的な運用による経費の節減	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。	(計画) 事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努める。 (実績) 事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。	(計画) 事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努める。
	④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	前年度に引き続き、情報公開に努めた。	(計画) 前年度に引き続き、情報公開に努める。 (実績) 前年度に引き続き、情報公開に努めた。	(計画) 前年度に引き続き、情報公開に努める。

人的支援	(人)	令和6年度				令和7年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
役員数		8	1	5	2	8	1	5	2
常勤		4	0	4	0	4	0	4	0
非常勤		4	1	1	2	4	1	1	2
職員数		20	0	2	18	22	0	1	21
財政支出等	(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	県委託料	121,803	122,284	128,388	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和6年度	令和7年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	犬の捕獲抑留業務等補助業務	動物管理業務	103,101	104,367	委託料
②	食品衛生試験検査業務	食品の細菌検査・理化学検査業務	16,977	16,977	委託料
③	抗生物質簡易検査用培地作成業務	抗生物質簡易検査用培地の作成及び培地の搬送	4,516	4,522	委託料
④	飼い主のいない猫適正管理推進事業	飼い主のいない猫適正管理推進事業に基づいて行う業務	3,260	3,643	委託料
⑤	収去検査の委託(テトラサイクリン系)	動物用医薬品検査業務	535		委託料

実施事業	①水質検査 ③貯水槽検査	②食品検査(理化学検査、微生物検査) ④動物管理事業(犬の捕獲抑留等業務)
------	-----------------	--

活動指標	指標名	算式(単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	水質検査実績状況	水質検査収益(千円)	91,300	102,808	112.6%	100,056	100,056
②	食品検査実績状況	食品検査収益(千円)	56,189	49,062	87.3%	54,036	54,036
③	動物管理委託事業実績	委託料(千円)	106,361	106,361	100.0%	108,010	108,010
指標の設定に関する留意事項							

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経常収益	252,580	255,017	293,196	資産	138,839	143,116	148,906
経常費用	260,705	259,552	286,281	流動資産	57,201	63,545	54,770
当期経常増減額	-8,125	-4,536	6,915	固定資産	81,638	79,571	94,136
経常外収益	0	80	1,017	負債	58,876	67,680	54,480
経常外費用	0	0	142	流動負債	18,393	27,149	21,123
当期経常外増減額	0	80	875	固定負債	40,483	40,531	33,357
税引前当期一般正味財産増減額	-8,125	-4,456	7,790	正味財産	79,963	75,436	94,426
法人税・住民税及び事業税	71	71	71	指定正味財産	1,000	1,000	12,271
当期一般正味財産増減額	-8,196	-4,527	7,719	(うち基本財産への充当額)	1,000	1,000	1,000
一般正味財産期首残高	87,159	78,963	74,436	(うち特定資産への充当額)	0	0	11,271
一般正味財産期末残高	78,963	74,436	82,155	一般正味財産	78,963	74,436	82,155
当期指定正味財産増減額	0	0	11,271	(うち基本財産への充当額)	5,000	5,000	5,000
指定正味財産期首残高	1,000	1,000	1,000	(うち特定資産への充当額)	17,983	17,993	31,552
指定正味財産期末残高	1,000	1,000	12,271				
正味財産期末残高	79,963	75,436	94,426				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

指標名	算式 (単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
		目標値	実績値※	達成度 (%)	目標値	目標値
① 人件費比率	人件費/経常費用×100 (%)	60.5	57.4	105.1%	60.5	60.5
※ 令和6年度 実績値の算式	164,405千円/286,281千円×100					
② 管理費比率	管理費/経常費用×100 (%)	0.9	1.0	88.9%	0.9	0.9
※ 令和6年度 実績値の算式	2,961千円/286,281千円×100					
③						
※ 令和6年度 実績値の算式						

指標の設定に関する留意事項

直近の県監査の状況

総合評価	公社等自己評価	一般財団法人へ移行して13年が経過したが、経営環境はより一層厳しい状況となっている。このような状況の中で、収益面については水質検査事業及び食品検査事業並びに貯水槽水道検査事業の全ての事業が前年度実績を上回る結果となり、経常収支は黒字に改善した。今後も検査技術の維持向上と信頼性の確保を図りつつ、経営の安定化に取り組み、動物管理の受託事業を含め県民の信頼に十分応えられるよう、各事業を推進していく。				県所管部課二次評価	活動内容については概ね目標を達成しており、収益面においても全ての事業が前年度実績を上回っていることから評価できる。財務内容については、賃借料等の経費増による支出増が認められる一方で、経営の安定化に取り組んだことで経常収支は黒字に改善したことから、収支改善の取組が評価できる。コスト削減による経営の安定化を図ると共に職員の人材育成や能力開発について引き続き取り組むことで県民の信頼の十分に答える必要がある。			
	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		A	B	B	A		A	B	A	A
	目標達成度									